

上級者向け組立キット

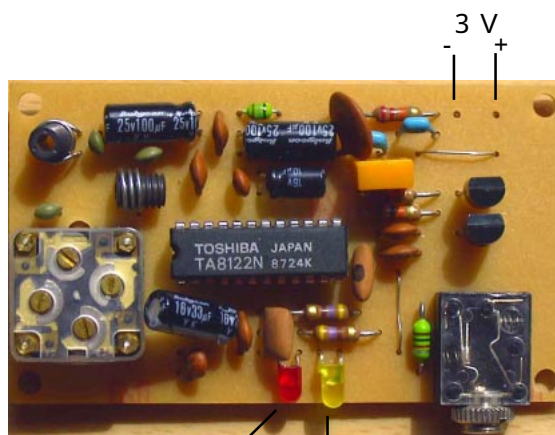
F Mステレオレシーバーキット

【概要】

F Mステレオレシーバーの組立キットです。本キットは、組立キット組立に慣れている上級者向け組立キットです。

【組立】

背の低い抵抗から取り付けます。L 1、L 2 は別紙資料のように自作します。基板に取り付けるときはコイルのショートを防ぐため少しだけコイル間隔を広げて取り付けます。他のコンデンサ、部品類は写真と回路図を参考に付けてください。バリコンには取り付け方向があります。また、少しかたいで注意して付けてください。背の高い電解コンデンサ類は横に寝かすように取り付けたら部品高さが低くなります。また、+ - の極性が有りますので間違わないようにしてください。



ステレオ表示 チューニング表示

【調整】

別紙の様に調整します。高い周波数の局はバリコンを最大にしL 2によって入る様にします。低い周波数の局はバリコンを最小にしL 1側のトリマコンデンサ(バリコン上)で入るようにします。その後高い周波数の局に合わせ感度が最大となるようL 1を調整します。同様に周波数の低い局に合わせ感度が最大となるようL 1側のトリマコンデンサ(バリコン上)を調整します。以上の調整はお互いに多少影響し合いますので少しずつ繰り返し調整し、総合的に最良となるよう調整します。

調整が終了したらロウなどでL 1、L 2を固定しておくとう安定です。

最後にバッテリーホルダーを取り付けます。電源スイッチは有りませんので使わないときは電池を抜いておいてください。

【注意事項】

本体は水分のかからないようにしてください。

電源は3Vです。過電圧をかけないようにご注意ください。

基板裏や基板上金属部がショートするとほんの一瞬であっても永久破壊することがあります。

基板上金属部に手などを近づけると受信周波数や感度が変化します。

アンテナはイヤホンケーブル兼用としています。

調整が悪いと全く受信できない場合があります。根気よく調整してください。また、受信できない場合コイルL 1、L 2の間隔が狭くて隣同士がショートしていることがあります。間隔を少し広げて試してみてください。

仕様

電源 DC 3V 単三電池×2

寸法 41×71×約15mm(突起部は含まず)

受信周波数 76～90MHz

表示 ステレオ、チューニング

出力 イヤホン専用

(有) アール・アイ・エフ

〒648-0096

和歌山県橋本市御幸辻766-16

TEL 0736-33-0410

FAX 0736-33-0430

<http://www.rif-jp.com/>